

住宅性能評価業務評価料

I. 設計住宅性能評価

1. 一戸建ての住宅

以下、「(1) 必須評価」と「(2) 選択評価」との合計とする。

(1) 必須評価

「5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること」については、「5-1」のみを評価する場合、「5-2」のみを評価する場合、「5-1」と「5-2」の両方を評価する場合、の3通りがある。

税抜(単位:円)

性能表示事項			一戸建ての住宅
1 構造の安定に関すること	1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	住棟	30,000
	1-3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	住棟	
	1-7 基礎の構造方法及び形式等	住棟	
3 劣化の軽減に関すること	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	住棟	
4 維持管理・更新への配慮に関すること	4-1 維持管理対策等級(専用配管)	住戸	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること →①～③のいずれかを選択(必須)	①「5-1 断熱等性能等級」のみ	住戸	25,000
	②「5-2 一次エネルギー消費量等級」のみ	住戸	35,000
	③「5-1 断熱等性能等級」と「5-2 一次エネルギー消費量等級」の両方	住戸	45,000

(2) 選択評価

税抜(単位:円)

性能表示事項			一戸建ての住宅
1 構造の安定に関すること	1-2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)	住棟	7,000
	1-4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	7,000
	1-5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	7,000
2 火災時の安全に関すること	2-1 感知警報装置設置等級(住戸火災時)	住戸	3,500
	2-4 脱出対策(火災時)	住戸	3,500
	2-5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	住棟	3,500
	2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	住棟	3,500
6 空気環境に関すること	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏)	住戸	3,500
	6-2 換気対策(居室の換気対策)	住戸	3,500
	6-2 換気対策(局所換気対策)	住戸	3,500
7 光・視環境に関すること	7-1 単純開口率	住戸	3,500
	7-2 方位別開口比	住戸	3,500
8 音環境に関すること	8-4 透過損失等級(外壁開口部)	住戸	3,500
9 高齢者等への配慮に関すること	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	住戸	3,500
10 防犯に関すること	10-1 開口部の侵入防止対策	住戸	3,500

2. 共同住宅等

以下、「(1) 必須評価」と「(2) 選択評価」との合計とする。

(1) 必須評価

「5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること」については、「5-1」のみを評価する場合、「5-2」のみを評価する場合、「5-1」と「5-2」の両方を評価する場合、の3通りがある。

税抜(単位:円)

性能表示事項			戸数				
			10戸以下	11～20戸	21～50戸	51～100戸	101戸～
			一律	一律	戸当り	戸当り	戸当り
1 構造の安定に関すること	1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	住棟	70,000	90,000	5,000	4,500	4,000
	1-3 その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟					
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	住棟					
	1-7 基礎の構造方法及び形式等	住棟					
3 劣化の軽減に関すること	3-1 劣化対策等級(構造躯体等)	住棟					
4 維持管理・更新への配慮に関すること	4-1 維持管理対策等級(専用配管)	住戸					
	4-2 維持管理対策等級(共用配管)	住棟					
	4-3 更新対策(共用排水管)	住棟					
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること →①～③のいずれかを選択(必須)	①「5-1 断熱等性能等級」のみ	住戸	60,000	90,000	3,500	3,000	2,500
	②「5-2 一次エネルギー消費量等級」のみ	住戸	105,000	130,000	4,000	3,500	3,000
	③「5-1 断熱等性能等級」と「5-2 一次エネルギー消費量等級」の両方	住戸	135,000	175,000	6,000	5,000	4,000

(2) 選択評価

税抜(単位:円)

性能表示事項			戸数				
			10戸以下	11～20戸	21～50戸	51～100戸	101戸～
			戸当り	戸当り	戸当り	戸当り	戸当り
1 構造の安定に関すること	1-2 耐震等級(構造躯体の損傷防止)	住棟	1600	1400	1200	1000	800
	1-4 耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	1600	1400	1200	1000	800
	1-5 耐積雪等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	住棟	1600	1400	1200	1000	800
2 火災時の安全に関すること	2-1 感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	住戸	800	700	600	500	400
	2-2 感知警報装置設置等級(他住戸等火災時)	住戸	800	700	600	500	400
	2-3 避難安全対策(他住戸等火災時・共用廊下)	住戸	800	700	600	500	400
	2-4 脱出対策(火災時)	住戸	800	700	600	500	400
	2-5 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部))	住棟	800	700	600	500	400
	2-6 耐火等級(延焼のおそれのある部分(開口部以外))	住棟	800	700	600	500	400
	2-7 耐火等級(界壁及び界床)	住戸	800	700	600	500	400
4 維持管理・更新への配慮に関すること	4-4 更新対策(住戸専用部)	住戸	800	700	600	500	400
6 空気環境に関すること	6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏)	住戸	800	700	600	500	400
	6-2 換気対策(居室の換気対策)	住戸	800	700	600	500	400
	6-2 換気対策(局所換気対策)	住戸	800	700	600	500	400
7 光・視環境に関すること	7-1 単純開口率	住戸	800	700	600	500	400
	7-2 方位別開口比	住戸	800	700	600	500	400
8 音環境に関すること	8-1 重量床衝撃音対策	住戸	800	700	600	500	400
	8-2 軽量床衝撃音対策	住戸	800	700	600	500	400
	8-3 透過損失等級(界壁)	住戸	800	700	600	500	400
	8-4 透過損失等級(外壁開口部)	住戸	800	700	600	500	400
9 高齢者等への配慮に関すること	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	住戸	800	700	600	500	400
	9-2 高齢者等配慮対策等級(共用部分)	住戸	800	700	600	500	400
10 防犯に関すること	10-1 開口部の侵入防止対策	住戸	800	700	600	500	400

II. 建設住宅性能評価

1. 必須評価及び選択評価(共通)

設計住宅性能評価料に下表の数値を乗じた金額とする。

なお、東京駅からの直線距離が50kmを超える地域における建設住宅性能評価の検査については、別途出張費(見積りによる)が加算される。

戸建住宅	2
共同住宅等(10戸以下)	2
共同住宅等(11～20戸)	1.9
共同住宅等(21～50戸)	1.8
共同住宅等(51～100戸)	1.7
共同住宅等(101戸～)	1.6

2. 特定物質の濃度測定に係る評価

税抜(単位:円)

測定物質	一戸建ての住宅、共同住宅等	
	同時測定できる戸数	戸当り
	6-3 室内空气中の化学物質の濃度等	1
2		35,000
3～5		28,000
6～10		24,000
11～30		22,000
31～		21,000
ホルムアルデヒド + VOC		1
	2	55,000
	3～5	45,000
	6～10	40,000
	11～30	38,000
	31～	37,000

III. 取り下げ及び解除を行った場合の返還の額(設計住宅性能評価、建設住宅性能評価共通)

申請の取り下げを行った時期	返還する率(%)
評価作業前	95
評価作業時	50
評価作業終了時	10